1. 令和7年度 学校経営管理全体計画（学校教育目標の具現化構想）

子どもの姿

・明るく素直で、すべきことに、しっかり取り組むことができる。
・人の役に立ちたいという思いを持っている。
・体を通した体験的な活動を好む。
・基礎・基本を生かして発展的な学習へ広げたり、失敗を恐れずチャレンジする気持ちは、やや弱い。
・自己表現力が弱く、より良い人間関係を構築することが苦手。

第4期滋賀県教育振興基本計画

栗東市教育基本方針

学校教育目標

だれもが いきいき ほのぼの うれしい 小学校

＜めざす子ども像＞

「だ」れもが楽しい学校（学級）を 自分たちで創る子 【自治】
「い」きいき学び合い 深める子 【探求】
「ほ」のぼの お互いの持ち味を 認め合う子 【共生】
「う」れしい 成長を実感し 自分を高める子 【自律】

教育基本法

学習指導要領

保護者・教師の願い

・自ら考え行動する子
・自分も人も大切にでき思いやりがある子
・学ぶ楽しさを感じられる子
・明るく元気に挨拶する子
・粘り強くやりぬく子
・「ありがとう」と感謝する子
・わが町、ふるさとを好きと思える子

わたしのめざす学校像

＜子どもにとって＞
夢や希望を持ち、願いを実現できる学校

＜保護者にとって＞
信頼と愛情を感じ、期待感が高まる学校

＜教員にとって＞
やりがいと連帯を感じ、自己を高められる学校

【経　営　方　針】

①学校を小さな社会ととらえる　…学校づくりへの参画意識
②人との関わり方を学ぶ場　…多様性の尊重と人間関係の構築
③自分自身を高める場　…認知能力と非認知能力の育成
④地域コミュニティの核となる場　…地域交流　連携の推進

○安心の中で自己を発揮し、認め合い支え合う集団づくり
（学級・学年・学校）
○「やればできる」「みんなとならできそう」と思う感情の育成
（自己効力感や集団効力感の高揚）
○「力を出せてうれしい」「喜んでもらえてうれしい」と思う感情の醸成
（自己有用感や自尊感情の育成）

わたしの学校がめざす教職員の姿勢

◆子どもの心に寄り添い個性を大切にする教職員　【愛】

◆研究や研修に励み自己を高める教職員　【情熱】

◆ 誠心誠意、信頼関係を築く教職員　【信念】

◆持ち味を認め合い学校をつくる教職員　【参画】

＜重点具体目標＞

「学校が楽しい」子どもの育成（９５％）

「まなび」

○児童の主体的に学ぶ力の向上を重視し、家庭学習との連動を意識した課題設定力や自己評価力の育成
○児童が互いの考えを聞き合う価値を自覚する対話的な学びの促進
○ICTの活用と基礎・基本の徹底
○読書習慣の育成

「なかま」

○児童の主体性と自治的能力、人間関係を築く力を育む学級活動（１）
○子どもの願いの実現と学校づくりへの参画を促進する児童会活動
○豊かな人間関係を築くクラブ活動や異学年での交流活動
○役割を担い協力して創りあげる学校行事の展開

「こころ」

○自己指導能力や自己実現に向かう心情を育む学級活動（２）（３）
○自己の生き方を考える人権教育
（性教育・障がい者理解教育・いじめ防止の取組）
○多様性の尊重と共生社会の担い手の育成
○道徳的価値の理解と実践的態度の育成